

# 米心友光力仲叶明生伝思

「ちょっと変わった田植」国津小学校の 農楽(のうがく)アート』の説明 H25.5

子どもたちも米作りの学習をと、1998年(平成10)に初めて行い(現在の場所から少し離れた場所の水田、面積7アールを借りて)水田所有者や地域活性化の皆さんの協力で4年間続けました。

その後、1年休み、小規模特認校が始まった2002年(平成15年)からは、現在の場所で、5月の田植えと9月の稲刈り作業の体験を行っています。

みなさんと一緒に稲の生長も風景も楽しもうと、水田に絵文字を描いて、11年目となります。

米 くにつ 平成15年 米とくにつ	心 大大 平成16年 心	友 平成17年 友	光 平成18年 光	力 平成19年 力	仲 Olympic rings 平成20年 仲
思 平成25年 思	伝 平成24年 伝	生 平成23年 生	明 平成22年 明	叶 くにつ 平成21年 叶	

水田：約縦60メートル、横20メートル 文字：約縦35メートル、横15メートル

水田所在：名張市神屋 面積 約12アール(1200平方メートル)

稲の品種 コシヒカリ 苗の生産地 名張市 下小波田

小波田は、能楽の観阿弥がはじめて座をたてた地です。農楽アートの由来を込めて。

植付け後 6月には、文字がはっきり読めるようになります。

収穫 収穫時期9月には児童により稲刈り体験を行う予定です。

農楽アートの田植えと、稲刈りを手伝ってくれたお礼に、収穫された30キログラムのお米を子どもたちにプレゼントされます。

## 『農楽アート』

『農楽アート』は、物を産み出すことと、生産の様子を見るとことの両面から『みんなで楽しもう』との提案です。

農産物を生産する目的の農業から少し観点を变えて価値を見出そうというものです。

農業は、自然のさまざまな仕組みを利用するものづくりですが、その成果は、単に食材だけではなく、自然と人が創り出す芸術性があります。そして、作業には一定の期間が必要で、生産の現場は、時季、時節の風景として、何時でも誰にでも公開されます。

例えば、水田の場合、「水田に早苗を移植した頃の『水が主役となった風景』」から「黄金色と称される『稔りの景色』」、そして穫り入れ後の光景も『ふるさとの原風景』を醸し出してくれます。

名張は、能楽の観阿弥が座を初めてたてた地とされています。ちょっと洒落がかかっていますが、その意味でも『農楽アート』が似合うまちです。

水田で取り組む農楽アートを、特に田楽(でんがく)アートとして、作業も、風景も楽しみましょう。